

問う

令和4年12月1日、2日、5日に開会した本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して5名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の7名の議員が一般質問を行いました。
以下、その要旨を掲載します。
なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

区民の皆様と共に歩む区政 そして未来志向の政策実現

自由民主党 新井 ひでお 議員



区長の施政の成果、そして未来へ

【問】近藤区長は16年の区政運営の中で、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の完成等、大規模プロジェクトの実現や刑法犯認知件数を大幅に減少させる等、足立区は住んでみたい・住み続けたいまちへと変貌している。この4期の自己評価と区の未来に向けての新たな課題を伺う。

【区長】区内には厳しい家庭環境にあり、将来に対して悲観的な子どもが多く存在する。子どもが夢や希望を持ってそれを実現でき、区外からも評価を得て誇りを持てる自治体にする事

を目標に16年間務めてきた。4つのボトルネック的課題の解消については一定の成果があったが、区内外からの評価の面で、まだ課題があると認識している。また、未来に向けての新たな課題は抜本的な区のイメージ刷新や、区民要望の高い災害に対する不安の払拭と考える。

区民の暮らしに手を差し伸べよ

【問】新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、区民や区内事業者が物価の上昇が大きな負担となっている。令和5年度予算編成では、区民の安全・安心を守り抜くための施策をどのように考えているのか。

【政策経営】新型コロナウイルス感染症対策の継続実施に加え、

新たな地震被害想定を重く受け止め、減災対策を強化していく

また、今後も区民や区内事業者の状況を丁寧把握しながら、切れ目のない消費喚起策等、区民の安全・安心を守り抜くための施策を実施していく。

竹ノ塚駅周辺の近未来図を示せ

【問】竹ノ塚駅周辺は全線高架化により踏切のないまちが実現し、地元では今後のまちづくりへの期待が高まっている。

①駅前エリアは「ひとが主役」という斬新なイメージの広場空間とにぎわいを創出するとしているが、具体的にどのような駅前再開発を目指し、令和4年10月に実施した交通量調査をどのように反映させるのか。

②駅周辺の3つの大規模団地再生という絶好の機会を捉えて、大胆なまちづくりを進めるべきだが、近未来に向けたまちづくりをどのように考えているのか。

【都市建設】①歩きやすくイベント等も実施できる空間を広く設け、「ひとが主役」の活気あふれる駅前エリアを目指す

また、交通量調査については、バス停やタクシープール等の必要な機能の検討に反映する。

②地区まちづくり計画等の上位計画を見直し、近未来に向けたまちづくりの方向を新たに位置付けていく。機を逸せずに取り

組み、将来的には「東京の北の玄関口」にふさわしい、持続可能なまちの実現に寄与していく。

【問】令和4年5月に都が発表した首都直下地震の被害想定を踏まえ、令和5年度予算編成では新たな対策や既存事業の拡充を検討していると思うがどうか。

【総合防災】首都直下地震に対する対策強化を令和5年度予算に反映させるため、全庁的に事業拡充や新規事業を検討している。新たな対策としては、簡易トイレの備蓄の増強とともに、各家庭における簡易トイレの備蓄啓発の実施を検討している。

さらに、建築物の耐震化を促進するための助成金の拡充についても検討している。

花畑北部の交通不便解消を

【問】花畑地域は交通不便の解消に向けた社会実験バスが導入され、区民の関心も高い。

しかし、社会実験の前半が終了した段階で、収支率の目標値と実績値に大きな隔たりがある。コロナ禍の影響等を考慮し、実

急激な人口減少は日本人消滅の危機・出生率の向上を

【問】区は令和2年の予算特別委員会ですべての目標を14と言明したが、区の現状の出生率は1.17である。出生率の減少状況をどのように考えているのか。

【工藤副区長】出生率が低下し、将来の支え手となる子どもが人口が減っている現状が続けば、

験期間の延長を含め、成功に導く必要があると思うがどうか。

【都市建設】路線全体で乗降調査等を実施し、利用状況を再検証するとともに、財政負担の少ない方法もあわせ地域の移動手段を検討する。以上を踏まえ、検証期間の半年間延長を前提に社会実験を進めていく。

高等教育にかかる負担軽減を

【問】区は育英資金制度を見直すための検討会を立ち上げ、その検討結果を踏まえた新たな育英資金制度を発表したが、従来の奨学金返済支援制度はどのように見直しを図るのか伺う。

【教育長】国の給付型奨学金との併用を可能とし、対象世帯を現在の中間所得層から低所得層へと拡大する。

【問】介護保険料は今や7千円に近く、数年後には1万円近くになってしまふ。現状のままでは介護保険制度は必ず崩壊するため、制度を抜本的に改めなければならないと思うがどうか。

【高齢者】どのような見直し効果が期待できるのか、特別区介護保険課長会等において十分検討した上で、今後も介護保険制度の抜本の見直しを、特別区長会や全国市長会を通じて国に対して引き続き要望していく。

生活保護受給者に自立支援を

【問】生活保護制度は本当に困った人々を助ける最後のセーフティネットである。

しかし、生活保護受給者から「私は働かない」ということを言われることは、絶対に許せない。生活保護制度を守るためにも、働ける状況にある受給者に

に近く、数年後には1万円近くになってしまふ。現状のままでは介護保険制度は必ず崩壊するため、制度を抜本的に改めなければならないと思うがどうか。

【問】私は鹿沼市の旧野外レクリエーションセンターについて、「区が行うべき工事見積分を区が全額負担する」という了解を両副区長に取り付け、事業者に報告した。

持続可能で心豊かな都市を目指して

【問】私は鹿沼市の旧野外レクリエーションセンターについて、「区が行うべき工事見積分を区が全額負担する」という了解を両副区長に取り付け、事業者に報告した。

自由民主党 古性重則 議員

令和4年4月に高木の伐採等の申し入れがあったが、覚書の内容を超えていると判断したため、応じられないことを伝えた。

【問】令和4年6月に日台友好促進足立区議会議員連盟と台湾の屏東県議会台日友好議員聯盟は交流に関する覚書を締結し、11月末には屏東県政府訪問団が区を訪れた。区制90周年事業の目玉として屏東県との姉妹都市締結を強く要望するがどうか。

【産業経済】屏東県と相互理解を深め、交流を積み重ねた結果として姉妹都市締結があると考

は働いてもらうということをお願いがどうか。

【足立福祉】生活保護法では、稼働能力の活用が保護の要件とされており、自立支援を促進する指導や指示に従わない場合、保護の変更や停止、廃止をすることが出来る。引き続き厳格な対応を図りつつも、稼働能力の活用が認められない受給者に対しては、包括的就労支援事業等受給者に寄り添いながら就労促進を図っていく。

【問】介護保険料は今や7千円に近く、数年後には1万円近くになってしまふ。現状のままでは介護保険制度は必ず崩壊するため、制度を抜本的に改めなければならないと思うがどうか。

【問】介護保険料は今や7千円に近く、数年後には1万円近くになってしまふ。現状のままでは介護保険制度は必ず崩壊するため、制度を抜本的に改めなければならないと思うがどうか。

